

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期筑前町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福岡県朝倉郡筑前町

3 地域再生計画の区域

福岡県朝倉郡筑前町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の総人口は、二町合併後の2005年から緩やかに減少し、2011年には29,202人まで減少したが、その後増加に転じ、2022年には30,000人を超過した。住民基本台帳では、2024年12月末時点で30,801人となっている。

今後は人口30,000人を維持することを目標としているが、全国的な人口減少化において、いずれの推計でも、中長期的には人口減少は避けられない結果となっている。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本町の人口は2060年には25,006人になると予測されている。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口比率（0～14歳）については、2005年の合併時（4,382人、14.9%）から2012年まで減少傾向にあったが、翌2013年から微増に転じ、2024年時点で4,392人と14.3%まで回復している。また、生産年齢人口比率（15～64歳）については、合併時（19,104人 65.1%）から年々減少していたが、近年では17,147人の55.7%に落ち着いている。老年人口比率については、合併時（5,856人、20.0%）から年々増加していたが、年少人口比率の押し上げにより、2024年時点では9,262人で30.0%と増加に歯止めがかかっている。

自然動態をみると、出生数は2010年の259人をピークに減少し、2023年には215人となっている。その一方で、死亡数は2023年には416人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲201人（自然減）となっている。

社会動態をみると、ほぼ一貫して転入者数が転出者数を上回っている状況が続いている。2023 年においては、転入者 1,691 人、転出者 1,289 人と、402 人の社会増となっている。

上記のとおり、現状、本町の人口は増加傾向にあるが、人口減少社会にあつて社会増がこのまま続くことは考えにくく、国立社会保障・人口問題研究所の推計にあるように、将来的には減少する見込みである。

将来的に人口が減少すると、生活関連サービスの縮小（商店の閉鎖、コンビニやガソリンスタンドの撤退など）、税収減による行政サービス水準の低下、空き家の増加、耕作放棄地の増加、地域コミュニティの機能低下といった課題が生じる恐れがある。

これらの課題に対応するため、本計画において次の 4 つの基本目標を掲げ、デジタルの力を活用しながら、地域の人材育成、企業誘致による雇用の創出、定住人口・交流人口の増加、特色ある教育行政の総合的推進、子育て支援の充実、安全安心のまちづくりの推進等に取り組む。

- ・基本目標 1 まちの地域資源を活かし、やりがいのある仕事を創出する
- ・基本目標 2 筑前町に住み続け、新たな人の流れをつくり、“選ばれるまち”を目指す
- ・基本目標 3 結婚・出産・子育てを応援し、未来を育むまち
- ・基本目標 4 田園風景を残しながら、生活しやすい魅力あふれるまちをつくる

【数値目標】

5-2 の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合 戦略の基本目標
ア	農業産出額（年間）	590千万円	590千万円	基本目標 1
ア	企業誘致件数（累計）	3件	6件	基本目標 1
ア	創業・企業のための講座 受講者のうち創業・起業	農商把握数) 10人	農商目標値) 15人	基本目標 1

	した人数（累計）	リブラ把握数 ） 16人	リブラ目標値 ） 20人	
ア	町からの円滑な情報伝達 に対する町民満足度 （％）	42.0％	50.0％	基本目標 1
ア	行政情報の「やさしい日 本語化」に向けた取組み 件数	0 件	10件	基本目標 1
ア	各種審議会などの女性登 用率（％）	41.4％	45.0％	基本目標 1
イ	この町に住み続けたいと 思う人の割合	86.2％	88.0％	基本目標 2
イ	転入超過数（年間）	827人	22人	基本目標 2
イ	観光入込客数（年間）	90.0万人	110.0万人	基本目標 2
ウ	子育て支援の施策に関す る満足度（％）	29.7％	40.0％	基本目標 3
ウ	子どもを産み育てやすい 環境に関する満足度（％）	36.3％	40.0％	基本目標 3
ウ	「将来の夢や目標を持っ ていますか」の項目にお いて肯定的な回答をした 児童生徒の割合（％）	（中3） 64.0％ （小6） 77.9％	（中3） 75.0％ （小6） 80.0％	基本目標 3
ウ	男女共同参画（ジェンダ ー平等）のまちづくりの 醸成に関する満足度（％）	24.9％	30.0％	基本目標 3
ウ	待機児童数（人）	22人	0 人	基本目標 3
エ	地域行事やコミュニティ 活動に関する満足度（％）	35.6％	40.0％	基本目標 4
エ	自然や美しい農村景観の	50.1％	50.0％	基本目標 4

	保持に関する住民の満足度 (%)			
エ	オンデマンドバスの収支率 (%)	—	15.0%	基本目標 4
エ	インターネット環境やDXの取組に関する満足度 (%)	18.8%	20.0%	基本目標 4
エ	「文化活動が盛んにおこなわれている」に関する満足度 (%)	36.2%	38.0%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期筑前町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア まちの地域資源を活かし、やりがいのある仕事を創出する事業

イ 筑前町に住み続け、新たな人の流れをつくり、“選ばれるまち”を目指す事業

ウ 結婚・出産・子育てを応援し、未来を育むまち事業

エ 田園風景を残しながら、生活しやすい魅力あふれるまちをつくる事業

② 事業の内容

ア まちの地域資源を活かし、やりがいのある仕事を創出する事業

地域資源を活かした魅力ある産業の創出及び強化、並びに産業人材の確保及び育成等、様々な分野に魅力ある仕事の間を創出する事業

【具体的な事業】

- ・スマート農業等の導入促進
- ・6次産業化の推進と地域ビジネスの基盤構築
- ・企業が進出しやすい環境整備と受け入れ体制の充実 等

イ 筑前町に住み続け、新たな人の流れをつくり、“選ばれるまち”を目指す事業

住み続けられるまちづくり、選ばれるまちに向けた魅力発信及び観光振興と関係人口の拡大等、筑前町への新しい「ひと」の流れをつくる事業

【具体的な事業】

- ・空家対策事業
- ・SNSなどによる移住・定住等に関する情報発信
- ・「道の駅 筑前みなみの里」の活用 等

ウ 結婚・出産・子育てを応援し、未来を育むまち事業

きめ細かな子育て支援の実現、健やかに産み育てる環境づくりの推進及び仕事と子育ての両立支援等、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えることに資する事業

【具体的な事業】

- ・学校・地域・行政が連携した地域ぐるみの教育の推進
- ・妊娠・出産・子育て相談センターによる支援体制の充実
- ・学童保育所の待機児童対策の推進 等

エ 田園風景を残しながら、生活しやすい魅力あふれるまちをつくる事業

互いに思いあう”おかげさま”のまちづくり、豊かな自然の保全、まちの住みやすさの向上のほか、都市の基盤整備や防災の強化等地域の安全性・強靱性を高める事業

【具体的な事業】

- ・ボランティアに関わる人材の育成
- ・住宅リフォーム事業
- ・公共交通の積極的な利用の促進 等

※ なお、詳細は第3期筑前町総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

150,000 千円（2025 年度～2029 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度6月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで